

回復期リハビリテーション病棟

# 入院のご案内



医療法人 恒仁会 近江温泉病院

# 医療法人恒仁会のご紹介

私たちは「人にやさしい病院」を目指し、高齢社会の新しい安心づくりに一丸となって邁進してきました。

医療療養病床では、急性期治療を終えた患者さんに対し、継続的な医学管理を提供しております。また、回復期リハビリテーション病棟では、在宅での生活を目指したリハビリテーションを行っております。さらに、認知症病棟では、地域で穏やかに暮らすことができるように、認知症の診断と治療を行っています。

2020年4月より併設された介護医療院では継続的な医学管理や介護を提供しています。

長年培ってきた技術と経験を生かし、今後も、患者さん、利用者さんに寄り添いながら、より良い医療や介護を提供してまいります。

## ● 法人概要

敷地面積 : 5867.22㎡

建築延面積 : 11,147.9㎡

構造 : 鉄筋コンクリート造

地上11階建

近江温泉病院病床数 : 232床

療養病床 176床

精神病床 56床

施設

介護医療院 120床

## ● 診療・外来科目

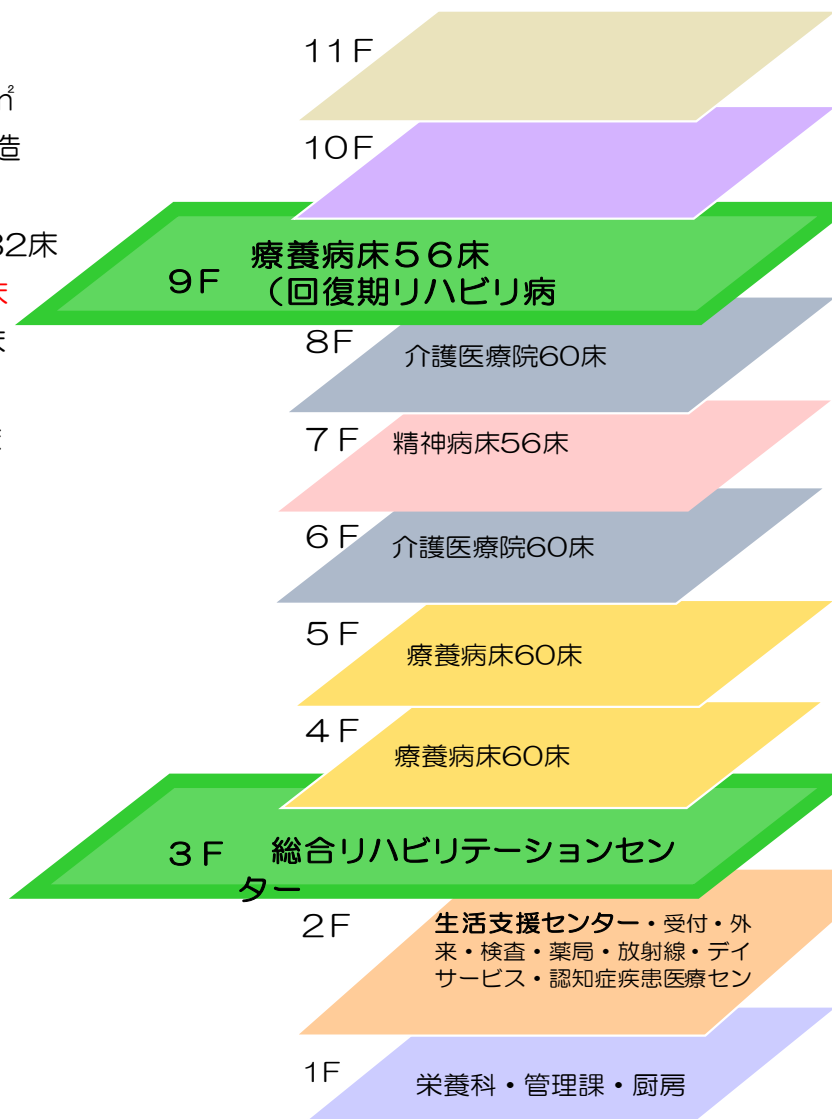
内科

リハビリテーション科

皮膚科

精神科

歯科





## 目次

---

- 1 近江温泉病院・回復期リハビリテーション病棟のご紹介
  - (1) 回復期リハビリテーション病棟とは
  - (2) 入院の対象となる疾患
  - (3) 入院中の1日の流れ
  - (4) 病室環境
  - (5) 各スタッフの紹介
  - (6) 入院から退院までの流れ
- 2 入院手続きについて
- 3 入院手続き（入院当日）
- 4 入院生活に必要な持ちもの
- 5 入院中の生活に関するご案内
  - (1) 保険証等の確認
  - (2) 面会
  - (3) 外出・外泊
  - (4) 入院中のほかの医療機関への受診について
  - (5) 寝具の提供
  - (6) 食事の提供
  - (7) 主治医との面談
  - (8) 医療福祉相談
- 6 退院
- 7 その他のお願い
- 8 個人情報の利用目的
- 9 写真
- 10 地図・アクセス

# 1 回復期リハビリテーション病棟のご紹介

## 回復期リハビリテーション病棟とは

「回復期リハビリテーション病棟」とは、脳血管疾患・脊髄損傷・骨折等により身体機能が低下した患者さんに対して、日常生活動作能力（ADLといいます）の向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、相談員等が共同で作成し、これに基づくりハビリテーションを集中的に行う病棟です。

### ◆ 地域における回復期リハビリテーション病棟の位置づけ

近江温泉病院では、スタッフが維持期（在宅や施設）につなげるよう、住み慣れた地域での生活ができるよう支援していきます。入院中から地域サービスとの連携を行い、退院後の生活に必要な準備を患者さんやご家族の方々とともに考え、お手伝いをさせていただきます。



### ◆ 特徴① 365日リハビリテーション

---

発症からできるだけ早く、そして集中的なリハビリテーションを行うことが効果的とされています。そのため、当院では、土・日・祝日を含めた365日のリハビリテーションを提供いたしております。

### ◆ 特徴② 生活に視点を置いたリハビリテーション

---

リハビリテーションの本来の目的は「生活を獲得すること」です。そのためには訓練室だけでなく日常の生活場面での訓練も大切となります。入院中の生活場面では、看護師や介護士が移動や排せつ・入浴・更衣などのリハビリをお手伝いします。また、朝・昼の時間帯には、セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）が必要に応じて病棟にお伺いし、実際の更衣場面やお食事場面などにおいて訓練いたします。

さらに、必要に応じ退院後の生活環境（自宅など）での訓練もおこないます。

### ◆ 特徴③ チーム医療

---

回復期リハビリテーション病棟では、医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・相談員等のスタッフが、情報の共有を行い、「総合リハビリテーション実施計画書」を共同で作成します。

そしてスタッフ全員が、共通の目標に基づいて患者さんを支援する「チーム医療」を提供いたします。



## 入院の対象となる疾患

下記の治療基準をみたされる方で、病状が安定している方

疾 患	回復期リハビリテーション病棟に入院可能な日数（上限）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）</li> <li>・ くも膜下出血のシャント術後</li> <li>・ 脊髄損傷</li> <li>・ 頭部外傷</li> <li>・ 脳腫瘍</li> <li>・ 急性脳症</li> <li>・ 髄膜炎</li> <li>・ 多発性神経炎</li> <li>・ 多発性硬化症</li> <li>・ 腕神経叢損傷</li> <li>・ 義肢装着訓練を要する状態</li> </ul>	発症 または 術後  150 日
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害</li> <li>・ 重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷</li> </ul>	発症 または 術後  180 日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節、2 肢以上の多発骨折の発症または術後	90 日
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90 日
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60 日
股関節又は膝関節の置換術後の状態	90 日

## 入院中の1日の流れ

入院生活のすべては、日常生活動作（例：寝る、食べる、歩くなど）を実践するリハビリの一部につながっています。そのため病棟では、患者さんの身体状態を個別に検討し、その動作能力を引き出せるよう、看護師や介護士が必要なお手伝いをいたします。

6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9(時)
起床 	洗面や更衣など	朝食 8時〜		リハビリや検査など		昼食 12時〜		リハビリや検査など				夕食 6時〜	更衣など就寝の準備		消灯 
			入浴（週2回）				入浴（週2回）								

### ◆ 入浴

入院中は、週2回入浴を提供いたします。入浴形態は、機械浴・チェア浴・家庭浴・訓練浴の4種類があります。入院当日、患者さんの状態に応じた浴槽をスタッフが選び、その後定期的に浴槽を選択し直します。

浴槽の種類	内容
機械浴	座ることが困難な方も安心して入浴していただけます。全介助で浴槽へ移動します。
チェア浴	座位（座ること）が安定しているが、またぎ動作が困難な場合に入る浴槽です。
家庭浴	またいで入る小さな個別浴槽です。
訓練浴	自宅で入浴を行えるようにするための訓練用に用いるユニットバス。浴室には、手すりやシャワーチェアなどの福祉用具が充実しています。自宅での入浴方法を模索し、繰り返し練習します。

## ◆ 食事

お食事は毎食時ロビーにて提供いたします。ベッドからロビーへ移動し、食卓で食事をするということも、家庭復帰を想定したリハビリの一部です。患者さんの飲み込みの機能に配慮しながら、食べる訓練をお手伝いします。また、内科疾患の合併に際して、治療食を提供いたします。

## ◆ 排せつ

入院中にできるだけ、トイレで排せつを行えるよう訓練していきます。急性期病院ではおむつをご使用されていた方も、日常生活動作能力の向上に伴い、トイレでの排せつを促していきます。また退院後、ポータブルトイレや尿器などの使用が必要な場合は、生活場面での導入を入院中よりおこないます。  
※身体状態により異なります。

## ◆ 更衣

入院中、日中は普段着、夜はパジャマで過ごしていただきます。毎日朝夕、更衣の訓練を行うとともに、生活のリズムをつけられるようにします。おひとりで難しい部分についてはスタッフがお手伝いいたします。

## ◆ 個別訓練（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、3階の訓練室のみならず、病棟生活場面にも介入し、個別訓練を実施します。状態を考慮しながら、週7日毎日、必要に応じて2時間～3時間の個別訓練が計画実施されます。  
毎日のリハビリスケジュールは、病棟の廊下に掲示し夕方更新します。

## ◆ その他の時間の過ごし方

日中できるだけベッドから離れてお過ごしいただけるように、さまざまな検討をさせていただきます。



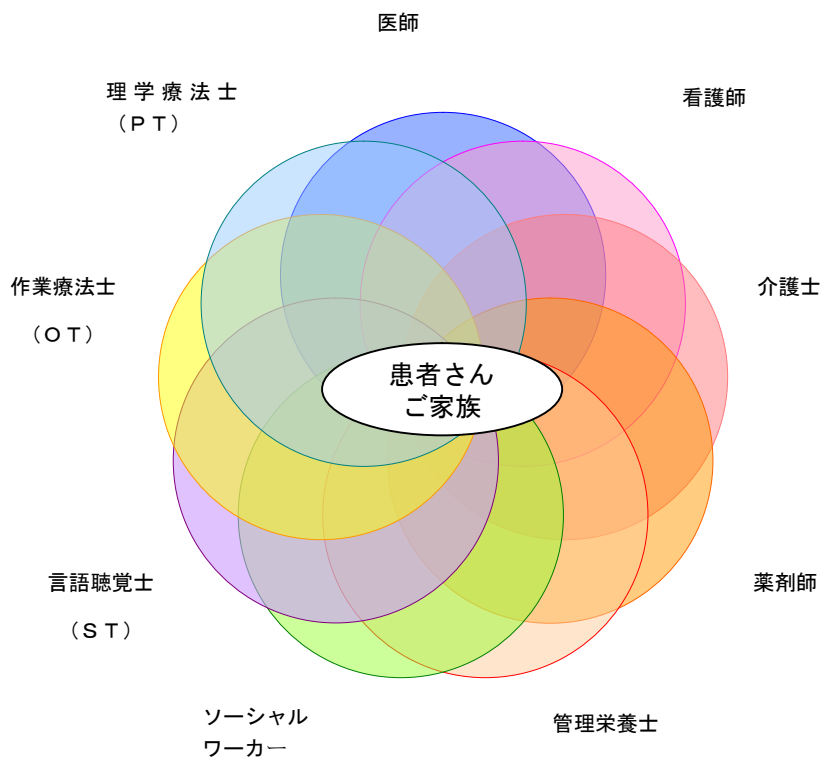
## 病室環境

部屋の種類		備品
多床室 ※差額ベッド代なし	4人部屋	テレビ、床頭台、洗面台
	2人部屋	テレビ、床頭台、洗面台
特室	特室 A 【差額ベッド代必要】	テレビ、洗面台、トイレ、応接セット、 タンス、洋服掛け
	特室 B 【差額ベッド代必要】	テレビ、洗面台、トイレ、応接セット、 タンス、洋服掛け

※テレビカードは9階または2階ロビーにあるテレビカード販売機にてお買い求めください。(1枚1,000円)

余剰分の精算は2階ロビーにて可能です。

## 各スタッフの紹介



## 医 師

回診を行い、身体面・精神面での医学管理を行うと共に、リハビリテーション指示を出します。また、月に一度リハビリ総合実施計画書を基にして、患者さんやご家族に病状説明を実施しています。

## 理学療法士（PT）

身体機能の低下に対し、機能回復訓練など、またそれに伴う基本的動作（起き上がり・立ち上がり・歩行など）のしづらさに対して動作訓練を行うことで能力の改善・向上を図ります。

## 言語聴覚士（ST）

言語聴覚療法では、主に脳卒中や頭部外傷による後遺症で『コミュニケーションが難しい』などの発話の低下、『食事が上手く出来なくなった』などの飲み込み機能の低下、『集中力が続かない』『記憶力が低下した』などの高次脳機能の低下に対して、患者さん個人の状態に合わせたリハビリ訓練を行っています。

## 管理栄養士

患者様の栄養の管理を行っています。糖尿・腎臓・心臓病などの疾患を有する患者さんに対して、退院後の生活で調理を担当するご家族やご本人を対象に栄養に関するご提案を行っています。

## 看護師・介護士

患者さんの全身状態を管理します。また、生活の場となる病棟での訓練や生活全般の援助、患者さん及びご家族の精神面のフォローに努めていきます。

## 作業療法士（OT）

作業療法（OT）では家庭復帰に向けて身体機能の回復を図るとともに、日常生活に必要な食事・整容・更衣・排泄・入浴の訓練、また、家事も必要な方には訓練を行っています。自宅に帰られるにあたり、住宅改修や福祉用具についても、患者さんや家族と一緒に話合っています。

## 相談員（ソーシャルワーカー）

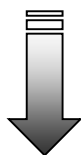
入院相談から退院後のフォローアップまで、最も長く患者さんやご家族の方々のサポートを行います。相談員が、医療費や医療制度、退院後の介護保険や福祉サービスのご利用についてなど、さまざまな問題やお悩みのご相談をお聴きし、解決していくためのお手伝いをいたします。

## 薬 剤 師

患者さんのお薬の調剤及び管理を行います。お薬に対する質問をお受けしたり、適宜、患者さんやご家族に対してお薬の服用方法や注意点の説明を実施致します。

## 入院から退院までの流れ

### 入院時合同評価



入院当日、担当チームスタッフが、一緒に身の回りの動き、手足の状態を拝見し、当日からの日常生活動作の練習をすすめてまいります。病棟生活における移動方法や排せつの方法、入浴形態などを検討します。

### 環境チェック訪問 ★



入院後、早期にご自宅をおうかがいし、退院後の生活環境を拝見いたします。ご自宅の段差高やトイレの状況、動く距離などを把握することにより、退院後ご自宅で行われる動作に限りなく近い練習内容を実践することができます。

### リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）

週7日、365日リハビリテーション診療を行います。

適切な場所で、適切な時に、適切なリハビリを提供いたします。

### リハビリ・カンファレンス ★

入院後2週間程度（その後毎月1回）で、主治医・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・相談員の参加のもと開催し、「総合リハビリテーション実施計画書」を作成します。「総合リハビリテーション実施計画書」には、現在の身体状況やリハビリプログラムの進捗状況、今後の治療方針、そして退院時の達成目標および退院時期等を明記いたします。その内容を、患者さんとご家族に十分説明した上でご理解いただけるよう努めます。患者さんまたはご家族方々は、分らないことやご不安などをお話し下さい。

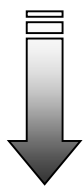
### ショートミーティング

入院後、1週間そして2週間ごとに現在の能力・機能について理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と看護師・介護士が話し合います。そして、退院の目標を達成するために必要となる、より具体的で細かい目標・課題を明確にし、定期的に見直します。

### 栄養サポート・ミーティング

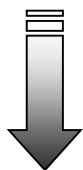
リハビリを進めるにあたって大切な食事の焦点をあて、患者さんの栄養状態・摂食嚥下について話し合い、個人に合った食事内容を検討いたします。

## 外出訓練 ★



必要に応じて、生活環境（自宅など）での訓練を実施します。患者さんのご自宅での動作確認を行いながら、患者さんやご家族に、具体的な退院後の生活イメージをもっていただけるよう努めてまいります。

## 家屋改修・福祉用具選定の提案・検討 ★



家庭復帰に向けて、患者さんの能力に応じた環境の提案そして福祉用具の提案をいたします。安全な生活を目指した環境を、患者さんやご家族、ケアマネージャーの方々と一緒に考えていきます。

## 在宅介護・合同カンファレンス ★



退院後、介護保険サービス等の支援をご利用される場合には、患者さんご家族、ケアマネージャーやサービス事業所スタッフの方々と会議を開催します。そして、退院後のケア計画について検討します。

## 退院 ★



★印については、ご家族にご参加いただき、退院後の生活についてともに悩み考えていきたいと思っております。ご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 2 入院手続きについて

### 問い合わせ・書類提出

現在ご入院中の医療機関を通じて当院へ連絡の上、「診療情報提供書」または「地域連携パス」を当院へご提出いただきます。



### 書類審査

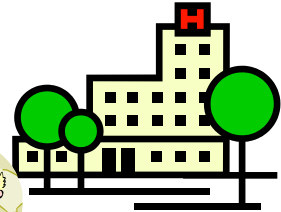
「診療情報提供書」または「地域連携パス」を確認し、回復期リハビリテーション病棟入院対象疾患かどうかを検討します。その後、現在ご入院中の医療機関へお返事いたします。

### 事前訪問

当方よりご入院中の病院へ、患者さんの様子をお伺いし、積極的なリハビリテーションを行うことが可能かどうか検討します。

#### ◆入院時期の目処をご案内します。

事前訪問では、患者さん・ご家族と直接お話をさせていただくことにより、転院への不安をやわらげるよう心がけます。  
そのため事前訪問には原則ご家族の同席をお願い申し上げます。



### 入院相談

入院相談のため、ご家族の方にお越し願います。

#### ◆相談日は、ご家族とご相談のうえ決定します。

◆健康保険被保険者証  
(福祉医療券ほか各種減額証、  
障害者手帳、介護保険被保険者証等をお持ちの方は一緒に)  
をご持参下さい。



入院相談では、相談員（ソーシャルワーカー）が、回復期リハビリテーション病棟や総合リハビリテーションセンターのご案内、入院生活についての説明を行い、安心して入院生活を送っていただけるよう努めます。

また、これまでの患者さんの生活の様子を聴かせていただき、個人の生活に寄り添ったリハビリプログラムを提供いたします。



### 入院日決定

入院のご案内日は、当院より連絡いたします。

- ◆入院に必要な手続きや準備物品、入院中の生活については入院相談時に説明いたします。
- ◆入院時の移動手段について…自家用車または介護タクシー等でお越し下さい。（降車時の際にはスタッフがお手伝いさせていただきます。）
- ◆入院時は必ずご家族の方が同伴していただきますよう、お願いいたします。

入院相談時に、このパンフレットをお持ち下さい。

## 3 入院手続き（入院当日）

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日（ \_\_\_\_ ） \_\_\_\_時に2階受付（玄関を入れて左に曲がる）までお越しください。

ご来院の際は必ず、ご家族（またはそれに代わる方）の付き添いをお願いいたします。

### ◆ 入院当日の流れ

<b>1 入院時検査</b> 看護師が付き添いし、入院時検査を受けていただきます。	<b>2 入院手続き</b> 検査の間、ご家族は、入院書類の確認など、入院手続きをお願いいたします。また、お荷物を病室へ運んでいただきます。（相談員がお手伝いします。）	<b>3 主治医診察</b> 主治医の診察・ご家族への説明をおこないます。	<b>4 病棟へ</b> 病室へご案内し、看護師が入院に際して必要な事項を説明いたします。
--	---	--	--

### ◆ 入院当日に必要な書類等

#### ◆入院書類（あらかじめご記入・ご捺印のうえお持ち下さい）

入院誓約書
家族連絡表
日常生活品等申込書
申込書
委託依頼書（兼）同意書
個人情報取り扱いに関する同意書
基準寝具貸与票

#### ◆ご家族がご用意いただくもの

ハンコ
健康保険被保険者証 （標準負担額減額認定証、公費負担医療受給者証、障害者手帳、介護保険被保険者証等をお持ちの方は一緒にお持ち下さい）
マイナンバーカード等（お持ちの方）

#### ◆病院から転院される場合

診療情報提供書・看護サマリー・退院証明書等
お薬

## 4 入院生活に必要なもちもの

私物の洗濯は、お持ち帰りいただくことを原則としております。どうしてもお持ち帰りが困難な方は、一部リースもごございます。その他、日用品は福祉用具業者よりお買い求めいただけるものもごございます。

※洗面所や院内での洗濯は出来ません。

### ◆すべての方に必要な物品

パジャマ	週2～5組
普段着（下衣はゴムのズボン）	週2～5組
靴下	1日1組
肌着	週2～5組
パンツ	1日1枚以上
バスタオル	週4～6枚
フェイスタオル（入浴または洗面用）	入浴用：週4～6枚 洗面用：必要により枚数
ふた付きバケツ（35ℓ～45ℓ）	1～2個
透明のビニール袋（35ℓ～45ℓ）	週2～3枚
歯ブラシ・歯磨き粉	適当
髭剃り（男性のみ）	適当
くつ（リハビリ用）やわらかくて履きやすいもの	1足
プラスチックコップ	1個
時計（卓上）	1個
カレンダー（卓上可）	1個

### ◆病状等により必要となるもの

おしぼり（ハンドタオル）	1日3枚
食事用エプロン	1日3枚
防水シート 尿意があいまいな方は多めに	適当
義歯ケース（プラスチックのもの）	適当
タオルケット	適当
座布団またはクッション	2～3個

※ 枚数は目安です。使用状況に応じて補充してください。

※ 原則週1～2回私物の洗濯をお持ち帰り願います。

※ お持ちいただくすべての物品にお名前（フルネーム）をご記入願います。


※ その他の持ち込みについては、病棟師長にご相談ください。

### ◆病棟での常備品

- |        |   |
|--------|---|
| 【日常品】  | シャンプー・リンス・石鹸・洗面器などの洗面用具、食事用の箸・フォーク・スプーン、食事用のコップ |
| 【電化製品】 | 専用テレビ、ドライヤー                                     |

## 5 入院中の生活に関するご案内

### 1 保険証等の確認

- 月に一度、健康保険被保険者証、介護保険被保険者証、マイナンバーカード等の確認が必要となります。受付窓口へご提示下さい。
- 保険証等が変更になった場合は、速やかにお申し出下さい。  
 保険証等の変更・資格喪失・有効期間満了等は、入院会計に関わる重要なことです。保険証等が変更されたにもかかわらず窓口提示がない場合は、自費扱い（10割負担）になることがあります。
- 健康保険被保険者証のほか、公費負担医療受給者証、限度額適用認定証、福祉医療券、特定医療費受給者証等をお持ちの方は、併せてご提示をお願いします。

### 2 面会

- 面会時間は午前9時から午後8時です。（洗濯のお持ち帰りのためにお越しいただく方は午前7時から午後9時までです）
- 面会の方はナースステーション前にある面会簿に、必ずお名前をご記入下さい。
- 患者さんに食べ物等を差し上げる時は、ナースステーションに申し出て、必ず許可を受けて下さい。治療の妨げになることがありますので、他の患者さんには差し上げないで下さい。
- 病状等により面会をご遠慮いただく場合がございます。ご了承下さい。

### 3 外出・外泊

- 外出や外泊を希望される方は、医師に相談のうえ、またはナースステーションに申し出ていただき、「外出（外泊）届・許可証」をご提出下さい。  
（「外出訓練」の際も、「外出（外泊）届・許可証」が必要となります。）
- 2階ロビーで過ごされる時など、病棟を離れる時は、ナースステーションにお声かけ下さい。

### 4 入院中の他の医療機関への受診について

- 入院中に他の医療機関で受診される場合は、主治医が必要であると判断した場合のみ許可します。必ず主治医または看護師にお申し出下さい。外泊や外出を利用して、無断で受診することがないようにして下さい。



- 定期受診等が必要な場合は、原則、ご家族による対応をお願いします。
- 病状の急変等で、主治医が、緊急に他院への転院・受診が必要であると判断した場合は、当院のスタッフが同行いたします。その際は、ご家族の方にもお付き添い願います。

## 5 寝具の提供

寝具は病院で用意いたします。シーツやカバー類は原則週 1 回交換いたします。

## 6 食事の提供

- 病状に応じた治療食と食事形態を提供いたします。食事時間は朝食 8 時、昼食 12 時、夕食 18 時です。
- ご質問等があれば、主治医・看護師・管理栄養士へお気軽にお申し出下さい。

## 7 主治医との面談

- 病状や治療の状況について詳しくは主治医にお尋ね下さい。
- 主治医との面談については、ナースステーションにお申し出下さい。

## 8 医療福祉相談

入院生活やご家庭での療養で、お困りのこと、入院費の支払いのこと等経済的な問題、退院後の生活や就労、介護等についての心配ごとなどについては、生活支援センター相談員がご相談に応じます。お気軽にお申し出下さい。

<生活支援センター 連絡先 (TEL) 0749-46-1125>

担当相談員は \_\_\_\_\_ です。

ご不明なことがございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

相談受付 : 月曜日～金曜日 9:00～17:15 (土・日・祝は休み)

## 6 退院

- 退院時期については、カンファレンス等で医師または担当相談員よりお伝えいたします。
- 入院費用の退院時精算は行っておりません。大変恐れ入りますが、請求書がお手元に届き次第、お支払い願います。

## 7 その他のお願い

- **病状等により、急に病室を変更していただく場合がございます。**
- 入院中は、病院の規則を守り、医師、看護師などの指示に従ってください。病院の規則や注意事項が守られない時は、病状にかかわらず退院していただく事があります。
- 病院に設置してある備品、物品は大切にしてください。万が一、破損された場合は、実費弁償とさせていただきます場合がございます。
- 多額の現金、貴重品はお持込にならないようお願いいたします。
- **義歯・眼鏡・補聴器等は、入院中も患者さん及びご家族の方が自己責任のもと、管理をお願いします。万一紛失された場合、当院では責任を負いかねます。入院時にそれぞれの保管ケースを必ずご持参ください。**
- テレビカードにはお名前（フルネーム）をご記入下さい。
- 病院敷地内は全て禁煙です。入院中の喫煙はご遠慮下さい。
- 公衆電話を病棟内に常設しておりますのでご利用下さい。
- ご面会の方は、テイルームをご利用いただけますが、食事の時間帯はご遠慮願います。
- 個別リハビリの提供時間は、都合によりやむを得ず変更させていただく場合がございます。ご了承下さい。
- 水分摂取の際、誤嚥の可能性が高い患者さんには、とろみ剤を使用し、安全に水分補給を行っております。食事（献立）以外に使用するとろみ剤は、自己負担となります。
- ご家族が連絡先を変更された場合は、必ず、お知らせ下さい。
- 職員への御礼・贈り物等は一切お受けすることができません。
- 当院は不在者投票制度の指定施設です。入院中に選挙が行なわれる時は、患者さん本人の意思によって不在者投票ができます。不在者投票開始日の1～2週間前から選挙の詳細を病棟に掲示しますので、投票を希望される患者さんは、ナースステーションまでお申し出ください。

## 8 個人情報の利用目的

### 当院は患者さんの個人情報保護に取り組んでいます

当院は、個人情報を下記の目的に利用し、その取り扱いには細心の注意を払っています。

1. 院内での利用
  - (1) 患者さんに提供する医療サービス
  - (2) 医療保険事務・介護保険事務
  - (3) 入退院等の病床管理
  - (4) 会計・経理
  - (5) 医療事故等の報告
  - (6) 当該患者さんへの医療サービスの向上
  - (7) 院内医療実習への協力
  - (8) 医療の質の向上を目的とした管理運営業務
2. 院外への情報提供としての利用
  - (1) 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
  - (2) 他の医療機関からの照会への回答
  - (3) 患者さんの診療等のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
  - (4) 検体検査業務等への業務委託
  - (5) ご家族等への病状説明
  - (6) 審査支払機関へのレセプトの提供
  - (7) 審査支払機関または保険者からの照会への回答
  - (8) 事業所等から委託を受けた健康診断に係る事業者等へのその結果通知
  - (9) 医師賠償責任保険等に係る医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
  - (10) その他、患者さんへの医療保険事務に関する利用
3. その他の利用
  - (1) 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
  - (2) 外部監査機関への情報提供
  - (3) 一定の法律行為に基づいての司法機関、行政機関・団体への情報提供

- ・上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。
- ・お申し出がないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます。
- ・これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことができます。

医療法人 恒仁会  
近江温泉病院

# 9 写真

## 回復期リハビリテーション病棟ロビー



4 人

部屋



2 人部屋



特室



車いす用トイレ



機械浴・家庭浴



訓練浴

作業療法室①



作業療法室②



理学療法室

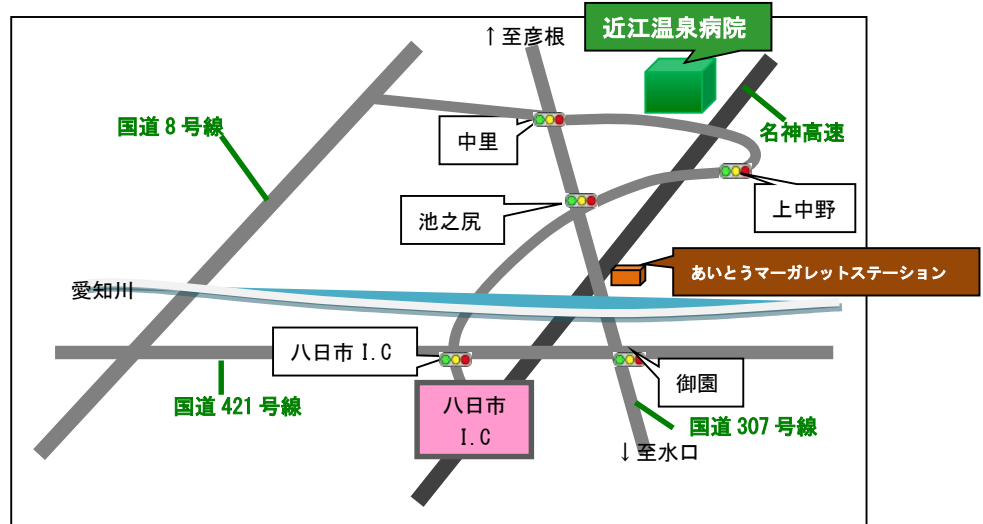


言語聴覚室



# 10 地図・アクセス

## 地図



## アクセス

### ● JR 琵琶湖線ご利用の場合

JR 能登川駅下車

○近江バス市ヶ原行き→読合堂バス停下車→徒歩 5 分

○近江温泉病院送迎バス（無料）

能登川駅発	乗車場所	能登川駅東側ロータリー				
	出発時刻	8:10	10:45	12:45	15:45	
近江温泉病院発	乗車場所	近江温泉病院正面玄関前				
	出発時刻	10:00	12:00	15:00	17:25	

※病院休診日（土日祝・年末年始）については、時刻表の\_\_\_の便（朝・夕）を運休します。

### ● 近江鉄道ご利用の場合

近江鉄道愛知川駅→近江バス市ヶ原行き（35分）→読合堂下車→徒歩 5 分

### ● 自動車ご利用の場合

- ・名神高速彦根 I.C. もしくは湖東三山 I.C. (ETC のみ) → 国道 307 号線（水口方面）→ 中里（交差点）左折
- ・名神高速八日市 I.C. → 国道 307 号線（彦根方面）→ 中里（交差点）右折



医療法人恒仁会 近江温泉病院

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町 966

TEL. 0749-46-1125 (代) FAX. 0749-46-0265

E-mail [socialworker@oumi-hp.or](mailto:socialworker@oumi-hp.or)